



レッドハットのSAPワークロード向けオープンソースソリューション使用のビジネス価値

IDCの調査では、SAP S/4HANAをはじめとするビジネス上重要なSAP環境を、レッドハットのエンタープライズオープンソースソリューションで実行することが、企業にとっていかに価値があるかを示している。調査参加企業は、レッドハットのソリューションを使用することで、より効率的なインフラストラクチャとセキュリティチームによるメリットを享受するとともに、SAPによる価値創出に必要なパフォーマンス、信頼性、スケーラビリティを実現したと報告している。

主要な調査結果



9万4,500ドル
SAP100ユーザー当たり
年間ベネフィット



318%
5年間のROI



99%
計画外ダウンタイム
の低減率

顧客の声、バイオテクノロジー企業：

「SAP向けのレッドハット運用環境の導入による当社にとっての最大のメリットは、使いやすさと文書化の改善です。レッドハットはエンタープライズレベルで、不具合が生じたとき、強力なサポートを提供してくれます」

以下の観点におけるベネフィット



ITベネフィット

61%向上
ITインフラストラクチャ
チームの効率

24%向上
ITセキュリティチームの
効率



アジリティと性能

54%高速化
新しいコンピューティング
リソースの導入

63%高速化
新しいストレージリソースの
導入



開発

32%向上
開発者の生産性

24%高速化
開発サイクル、新しいアプリ
ケーション



業務

3,300万ドル増加
1組織当たりの年間売上高

33%向上
生産性、分析チーム

顧客の声、フィンテック企業：

「レッドハットのSAP環境向けソリューションで、当社が経験した最も重要なメリットは、必要なアップタイムを確保できることで、システムはただ実行するだけでいい<中略>。より俊敏に、日中でも最小限の中断で実際に展開できるので、計画ダウンタイムが大幅に削減できました」